

2018 長野西国際教養科 NEWS 10月

三浦さん 英語プレゼンテーションコンテスト全国大会出場

10月14日(日)、獨協大学主催の「第6回全日本高校生英語プレゼンテーションコンテスト」が獨協大学で開かれ、本校から国際教養科2年の三浦あいかさんが出場しました。2年6組の生徒全員が応募し、三浦さんは全国の230名の応募者の中から10名の本選出場者の一人に選ばれたものです。毎年国際教養科2年のクラスの全員が応募している大会ですが、本選出場者が出たのは4年ぶりのことです。

今年大学から与えられたテーマは①Wake Up! ②Citizen of the Planet ③World in Distress の3つで、三浦さんが選んだのは②。世界の水事情を分析し、今後予想される水不足に対して、国レベルで、個人レベルで何ができるかを考え、協力を訴えるという内容でした。惜しくも入賞は逃しましたが、堂々とした素晴らしい発表ができました。また今回は長野西高校に対してその取り組みが評価され、教育奨励賞が贈られました。



10人の発表者たち



表彰後の記念撮影

国際教養大 内田先生による特別授業

10月25日、本校恒例の「梶の葉大学」が2年生対象に行われ、語学、国際関係の分野では、秋田県にある国際教養大学の内田浩樹先生に講義を行っていただきました。内田先生には2年前にも来ていただき大変好評でしたので、今年もぜひにということをお願いしました。

「インターナショナルとグローバルはどう違う？」のテーマのもと、その2つの用語の基本的な意味の違いとその背景にある世界情勢についてお話を聞き、なぜ今グローバルという言い方が必要なのか、グローバル人材とはどういう人を指すのかを理解した上で、そういう人材になるために必要なものは何かを考えました。

異文化理解では、ただ相手を理解するだけでなく、そのあとどう相手に対処するかを考えることが重要であるとか、日本人の弱いところは物事を印象だけでとらえ、批判的に深く考えることができないことであるといった、今まで気づけなかった視点を教えられました。参加した生徒たちはみな大変熱心に受講していました。

